

**Project PLATEAU 事業推進に向けての情報提供依頼（RFI#1）（2027 年度向け）
実施要領**

1. 背景・目的

都市デジタルツインの実現を目指し、国土交通省が様々なプレイヤーと連携して推進する Project PLATEAU（プラトー）は、2020 年度の開始以来、3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を進め、防災、まちづくり、モビリティ、環境、観光等の多様な分野におけるユースケース開発や技術開発等に取り組んできた。これまでの取組により、2025 年度末時点で整備都市数は 329 都市、ユースケース開発は約 100 件に達するなど、3D 都市モデルの利活用は着実に広がっている。

一方で、3D 都市モデルの整備・更新コスト、ニーズとモデル品質の整合、社会実装の更なる拡大等が課題となっている。こうした状況を踏まえ、国土交通省では「PLATEAU ビジョン 2026」において、①データ整備・更新の効率化、②サービス実装の更なる推進、③国外への都市デジタルツイン展開を重要項目として位置付けている。

RFI#1 では、これらの方向性を踏まえ、PLATEAU をデジタル公共財として発展させ、国、地方公共団体、民間企業、研究機関等の多様な主体による社会実装や市場創出を加速するため、先進的なアイデア、技術、サービス、事業モデル等について幅広く情報提供を募集する。

2. 募集テーマ

本 RFI では、PLATEAU ビジョン 2026 に示すアクションプランを踏まえ、以下のテーマごとにアイデアや提案を募集する。

A. 標準データ仕様のメンテナンス

多様なニーズに応じた 3D 都市モデル及び都市デジタルツイン関連データの活用を可能とするため、対象範囲、品質要求、属性情報等の標準仕様の見直し・高度化を進める企画。例えば、利用目的に応じた LOD・品質要求の最適化、点群データや BIM データ等の 3D 都市モデル以外のデータの位置付け整理、国際標準や最新技術動向を踏まえた仕様改善等を想定する。

B. データ整備手法の効率化

3D 都市モデルの新規整備及び継続的な更新に係るコスト低減、作業効率化、品質確保を図る企画。例えば、AI、衛星画像、スマートフォン画像、航空測量成果等

を活用したモデル自動生成、更新箇所の自動抽出、品質検査の効率化、目視・手作業工程の自動化等を想定する。

C. 新技術の実装

都市デジタルツインの活用領域を拡張し、社会実装を加速するため、新技術を活用したサービス・ソリューションを開発・実装する企画。例えば、AI、シミュレーション、XR や、CityGML3.0 形式で新たに定義される地物（Dynamizer や Versioning）等を組み合わせた、防災、環境、モビリティ、都市開発、地域活性化等の新たな活用手法の開発を想定する。

D. まちづくりでの活用定着

都市政策やまちづくり業務において、3D 都市モデル活用が一過性の実証にとどまらず、3D 都市モデルが日常時も非常時もフェーズフリーに活用され、継続的な業務プロセスに組み込まれることに資する企画。例えば、都市計画、再開発、防災、環境、公共交通、中心市街地活性化等における可視化・分析・シミュレーション、住民参加型の合意形成、EBPM サイクルへの活用、既存ユースケースの自治体業務への横展開等を想定する。民間領域において社会課題の解決に資する 3D 都市モデルを活用したサービスの実装も含む。

E. コミュニティ・人材育成

PLATEAU の利用者、開発者、地方公共団体職員、地域企業、研究者、市民等の裾野を広げ、都市デジタルツインを活用できる人材・コミュニティを育成する企画。例えば、自治体職員向け研修、地域企業向けハンズオン、学生・エンジニア向け開発イベント、一般層への普及啓発、地域内での地産地消型サービス創出を支える人材育成等を想定する。

F. 産学官連携体制の構築

国、地方公共団体、民間企業、研究機関、地域コミュニティ等の多様な主体が連携し、PLATEAU を活用した取組やサービス実装を自律的に進めるための体制・仕組みを構築する企画。例えば、自治体ニーズと企業・研究機関の技術シーズをつなぐマッチング、共同研究・共同開発、サービス実装に向けた役割分担、成果共有の場づくり等を想定する。

G. データ利用環境の向上

3D 都市モデルをより容易に取得、閲覧、加工、変換、分析、連携できる環境を整備し、専門家以外も含めた利用拡大を図る企画。例えば、PLATEAU VIEW や各種ビューア、API、データ配信・ダウンロード環境、データ変換ツール、ノンエンジニア向け利用支援機能、他のデータ共有プラットフォームとの連携、軽量化や

UI・UX改善等の利活用拡大に向けた制度・運用上の課題整理等を想定する。

H. 国際展開

PLATEAU で培った 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の知見を活かし、海外都市における都市デジタルツインの導入・活用を促進する企画。例えば、各国の測量体系、都市課題、制度、データ環境等を踏まえた導入可能性調査、海外都市でのユースケース創出、国際標準化への貢献、日本企業等による関連技術・サービスの海外展開支援、国際機関等との連携等を想定する。

3. 情報提供に当たって重視する観点

1) ニーズ

3D 都市モデルや都市デジタルツインに係る技術・シーズの観点のみならず、具体的な社会課題の解決、都市政策への活用、行政サービスの高度化、新たなサービス・市場の創出等に資する取組であること。

2) 実現可能性

アイデア・構想にとどまらず、技術開発、サービス開発、社会実装、継続的な運用等に向けた実現可能性を有する取組であること。

3) 発展性・展開性

特定地域・特定用途に限定されず、他地域、他分野、国内外への横展開や、PLATEAU エコシステム全体への波及が期待される取組であること。

4) オープン性

取組の成果について、可能な範囲で公開・共有し、広く産学官民の各主体が活用できること。

4. 応募者の要件

応募者は、法人、または、法人に属する個人とする。個人の場合は、所属する法人のルールに沿って対応いただきたい。

また、応募者は前項の各募集テーマに係る取組の実施主体となりうる者に限らない。

反社会的組織またはこれに属する者でないこと。

産（企業・事業所、業界団体等）、学（大学・研究機関等）、民（NPO 法人等）等、幅広い主体からの提案を期待する。

5. 募集期間

令和 8 年 7 月 31 日（金）から令和 8 年 8 月 25 日（火）まで

6. 情報提供の方法

1) 応募書類

「応募様式」に必要事項を記入の上、2) 提出方法に記載の方法にて提出すること（補足説明資料の添付も可）。

また、情報提供の内容毎にファイルを分けて提出すること（複数のテーマの情報提供や1つのテーマで複数の情報提供をする場合は、シートを増やさず、ファイルを分けて提出）。

2) 提出方法

11. に示すメールアドレスまで電子メールで送付すること。

なお、応募書類全体の容量が10MBを超えないように注意すること。

7. 情報提供資料の取扱い

応募者から提出された情報提供資料は、国土交通省都市局により、Project PLATEAU の2027年度以降の事業や調査・研究のテーマ・内容等の検討のための参考資料として活用する。

なお、本RFIで情報提供されたものを国土交通省都市局の事業テーマとして取り上げるようになった場合、あらためて業務等の公募等を行う予定である。このとき、RFIで情報提供を行った者が必ず採択されるものではないことをご承知いただきたい。

応募者から提出された情報提供資料は、国土交通省都市局及びその受託者（合同会社デロイト トーマツ）のみの取扱いとし、そのまま対外的に公表することはしない。ただし、一定の整理を行い、提案者に確認をとったうえで公表する可能性がある。このため、特に、公知情報ではないものについては、関係者の了解を得たうえで情報提供いただきたい。

情報提供内容に関し、応募者が保有する知的財産権（著作権、特許権等）は、応募者に留保される。

応募者の個人情報については、本RFIの目的に沿って適切に管理する。

8. その他留意事項

- ・ 情報提供に係る費用はすべて応募者が負担するものとする。
- ・ 本RFIの対象以外の施策・事業等に関する一般的な意見・提案等は受け付けない。

9. 説明会の開催

本RFIに関して、以下のとおり、情報提供を検討している又は今後検討を行う予定である事業者等向けの説明会を開催する。

1) 開催日時

（第1回）令和8年8月6日（木）13:00～13:30

(第2回) 令和8年8月7日(金) 12:00~12:30

2) 開催場所

オンライン形式 (Microsoft Teams)

3) 参加申込み

説明会の参加を希望する方は、令和8年8月5日(水) 15時までに、下記フォームよりお申込みください。期限までにお申込みいただいた方のメールアドレスにオンライン開催の URL を送付させていただきます。

<https://forms.cloud.microsoft/r/RqgTarxXcE>

10. 参考資料

Project PLATEAU の概要やこれまでの取組成果等については、以下 URL のウェブサイト等を参照いただきたい。

- ・ PLATEAU ビジョン 2026 に関する報道発表資料 (2026/7/17)
https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03_hh_000223.html
- ・ PLATEAU ウェブサイト
<https://www.mlit.go.jp/plateau/>
- ・ PLATEAU ユースケース紹介記事 (随時アップデート)
<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/>
- ・ PLATEAU テクニカルレポート
<https://www.mlit.go.jp/plateau/libraries/technical-reports/>
- ・ 3D 都市モデル標準製品仕様書
<https://www.mlit.go.jp/plateaudocument/>
- ・ PLATEAU 補助事業ウェブサイト
https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau_hojo.html

11. 資料提出および問い合わせ先

情報提供資料の提出および本件に関する問い合わせの連絡先は以下のとおり。本 RFI に関する質問及び回答内容については、必要に応じて、質問者が特定できない形で整理の上、「FAQ」としてウェブサイトに掲載する。

国土交通省都市局国際・デジタル政策課

担当：小田代、山口、清川、藤田、宮崎

T E L 03-5253-8422 (直通)

電子メール hgt-mlit-plateaurfi2@ki.mlit.go.jp

以上